

特別養護老人ホーム「アリオン」開設予定

子供からお年寄りまで、生き生きと暮らせる地域福祉のために。

ペガサスグループのグループ法人である「社会福祉法人 風の馬」は、2014年12月に、特別養護老人ホーム「アリオン」を開設する予定です。「風の馬」では、特別養護老人ホームを単なる入所施設ではなく、地域の重要な拠点として位置づけ、地域の方々の交流スペースを提供し、介護予防に資するセミナー等を定期的に開催する予定です。

介護が必要になっても、普通の生活を営むことができる。その考えを主軸に、職員一同、ご入所者の個々の生活スタイルを尊重した支援を行っていきます。



療養通所介護／受け入れ人数拡大

愛情を持ち子どもの視点に立った、児童発達支援のデイサービス。

ペガサス療養通所介護では、0～18歳未満の重症身体障がい者を対象にした放課後デイサービスを実施しています。サービス内容は、日常生活の基本動作、自活に必要な知識・技能、集団生活への対応に向けての訓練・支援・治療等。その他にも、毎日のケアをされるご家族の負担軽減のため、放課後や休校日などでのご利用もできます。

子どもの視点に立った適切な対応をこころがけ、ゆったりとのびのびした環境で、子どもたちに楽しい時間をご提供いたします。本サービスに関する相談・申請は各市町村の支援課までお気軽にどうぞ。



ペガサス医療体験デイ 就活バージョン



毎回好評の「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン」。

看護師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、介護職員をめざす学生の方や既卒の方を対象に、院内体験見学や就職についての説明会を開催します。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

看護師
求人サイト



看護師
動画サイト



詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。http://pegasus.or.jp/

私たちと一緒に働きましょう。
介護職員募集中! 随時受付しています。

ペガサスでは今、介護職員を募集中です。いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

4月 ペガサスセミナー

4月からどうなる?
診療報酬改定!!

講師:介護療養型老人保健施設ペルセウス
事務長代理 阿部健太郎
日時:4月22日(火)午後2時～3時
場所:馬場記念病院 1階ロビー

4月 ペルセウス介護支援セミナー

ハートに届く
コミュニケーション技術

講師:看護師 森永由美・田尻恵理加
日時:4月25日(金)午後3時～
場所:介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3階食堂

4月 ペガサスセミナー和泉

誰でも実践!
リハビリのコツ

講師:理学療法士 浅野賀生
日時:4月24日(木)午後2時～3時
場所:介護療養型老人保健施設エクウス

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
http://www.pegasus.or.jp/
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/平成26年3月31日

Vol.63

法人本部から地域の皆さまへ

今年2月、馬場記念病院は「病院機能評価」に認定されました。

病院機能評価とは、医療を提供するための基本的な活動や機能が適切に実施されているかを、第三者機関が中立的な立場で評価する、いわば「病院の通信簿」です。病院機能評価は時代に合わせ年々改定し、昨年から新たな枠組みとして、病院の特性に応じた機能種別の認定区分や、プロセスを重視した評価を設定。そのなかでは、ある一人の患者さまが、来院・外来受診から入院、そして退院までの一連の経過に沿って提供され



る医療サービスについて確認する「ケアプロセス調査」も行われました。

4度目となった馬場記念病院の機能評価受審。今回は、救急外来が特に高く評価されました。当院は二次医療圏などの比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院です。このような詳細な審査を経て認定を受けることは、病院としても職員個人としても、今後のさらなる成長への大きな機会となります。日常の医療活動において常に襟を正し、改善と努力を続けていきます。



限りなく自宅に近い環境を。「ペガサスロイヤルリゾート」オープン。

3月1日、サービス付き高齢者向け住宅「ペガサスロイヤルリゾート」がオープンしました。介護の必要な高齢者や障がい者の方に、病院や施設ではなく「ご自宅」で暮らす満足をご提供する「ペガサスロイヤルリゾート」。24時間職員が常駐し、訪問看護ステーション、デイサービスセンター、ケアプランセンターも併設。さらに馬場記念病院とペガサス



クリニックも近くにあります。

日々の生活の支援体制も充実させ、スタッフによる健康チェックや管理栄養士が献立した宅配食の食事サービス、住居内外の定期巡回や清掃は欠かしません。その他設備も万全。防音性を配した個室には、オール電化のキッチン、車イスでも使用可能な広々としたトイレを設置しています。施設1階には広々としたフードコートや介助浴室もあり、お一人での入浴が不安な方も安心してご入浴できます。

きめ細かなサービスと「安心と安全と快適さ」を追求した「ペガサスロイヤルリゾート」。ご相談・ご入居申し込み等、お気軽にお問い合わせください。

TEL : 070-6924-2990 (お客様相談室)



シリーズ 27 地域医療支援室

地域の診療所や
介護・福祉施設の方と
顔の見える連携を進めています。診療所との連携を
「深める・広げる」
活動を展開しています。

馬場記念病院は「地域連携」と「継続ケア」をキーワードに、疾病予防から在宅支援に至るすべてを包括するネットワーク「ペガサス・トータル・ヘルスケアシステム」の構築をめざしています。そのネットワークづくりにおいて中核的な機能を果たしているのが、私たち地域医療支援室です。

地域医療支援室の第一の役割は、「病院と診療所」の連携を深めることです。現在、当院に登録してくださっている先生はおよそ630名。そうした登録医の先生方から、各種検査（MRI、CT、胃カメラ、エコーなど）や診察、入院のご依頼をお受けする窓口として、常に迅速で確実な対応を心がけています。また、月に100件以上、地域の診療所を訪問して「何かお困りのことはないですか」「お役に立てることはないですか」とお伺いし、「顔の見える関係づくり」に力を入れています。

医療と介護を結ぶために、
地域の介護・福祉施設との
連携にも力を注いでいます。

地域医療支援室のもう一つの役割は、「医療と介護」の連携です。病院を退院して、ご自宅や施設で療養される方を継続して支援できるように、地域の福祉施設や介護保険サービス事業所と連携。診療所と同じような登録制度（パートナー事業所制度）を設

けて、約230カ所の施設・事業所とパートナー関係を結んでいます。在宅や施設での療養生活でもっとも気がかかるのが、病状が急変したときの対応です。そんなとき、私たちが窓口となり、スムーズに患者さまを受け入れる手配をしています。

地域の登録医やパートナー事業所の方々との連携において常に心がけているのは、さまざまなご依頼に対し、「できるだけお断りせず、迅速に対応する」ことです。院内の各部署と協力しながら、困ったときこそ頼りにしていただける体制強化に努めています。

「病気予防」も大切なテーマ。
地域の皆さまに健康情報を
お届けしています。

馬場記念病院では、ペガサス職員によるセミナーを毎月1回、1階ロビーで開催しています。そのテーマ設定や講師の依頼、案内チラシの作成など



を担っているのも、実は私たち地域医療支援室のメンバーです。たとえば、「レントゲンって怖いですか?」「手洗いで感染を予防しましょう」「心筋梗塞のおはなし」「骨折の怖さ! 転倒予防のおはなし」など、毎回、健康づくりに役立ついろいろなお話を提供できるよう工夫を凝らしています。また、ご要望に応じて、パートナー事業所などで出張セミナーも開催しています。

ペガサスセミナーの良いところは、講師（ペガサス職員）と受講者（地域の皆さま）の距離がとても近いこと。セミナーの終了後に、受講された方が「先生、ちょっといいですか」と相談されている光景も見かけます。病気をかしく予防するためにも、ぜひお気軽にご参加いただきたいと思います。

このほか、地域医療支援室では登録医やパートナー事業所の方々を対象とした勉強会・研修会などの企画運営も手がけており、医療・介護に関わる情報を幅広く発信しています。

企業の社員さまの健康管理をサポートする
「ペガサスパートナリシップ制度」を開設しました

地域医療支援室では、法人・渉外担当室と連携し、「ペガサスパートナリシップ制度」を開設しました。これはもともと産業医^(※)として活動している登録医の先生のご要望から生まれた制度で、馬場記念病院の持つ医療機能と人材を地域の企業の方々に活用していただくことを目的としています。たとえば、作中に体調を崩された社員の方の緊急受け入れをはじめ、外来予約・受診、定期健康診断、さらに出張ペガサスセミナーなどを通じ、社員の皆さまの健康管理をトータルにサポートしています。

※企業の医務室などで社員の健康管理などに携わる医師のこと。

TOPICS 1 日米ジョイントフォーラム開催

急性期医療の最新情報を学ぶ、
日米ジョイントフォーラム開催。

社会医療研究所所長・岡田玲一郎先生が企画し毎年開催している、「日米ジョイントフォーラム」。今回は「急性期医療の変遷と現状」をテーマに3月1日（土）2日（日）に大阪と東京で開催。アメリカから第一線で活躍する大学教授、病院経営者を招き、米国最新医療から日本の医療の道を考える講演から始まり、急性期・慢性期の問題について参加者を交えての意見交換をしました。

TOPICS 3 外科部長の考える緩和ケア

がんと戦う体と心の痛みを
和らげるために…。

馬場記念病院では、外科部長の寺岡 均医師の呼びかけにより「外科部長の考える緩和ケア」のチームを発足しました。緩和ケアとは、がんによる苦痛を和らげ、患者さまがより自分らしい生活を営むことができるよう働きかけるものです。勉強会には、外科や消化器科の医師を中心に、病棟看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士などが参加し、今後は入院中の外科系がん患者さまの治療に関しての情報共有や、病院全体での精神的ケア支援などに注力していきます。

TOPICS 5 ペガサスリハビリテーション病院

早期社会復帰支援のため、
充実したリハビリテーションをご提供。

ペガサスリハビリテーション病院は、回復期リハビリテーション病棟で回復期でのリハビリテーションが必要な患者さまに集中的な機能訓練を行っています。医療療養病床では、お一人おひとりに適した目標を立て、リハビリテーションをご提供しています。また訪問リハビリテーションやデイケアセンターも併設し、地域の方々もご利用いた

TOPICS 2 南大阪リハビリテーション学会開催

リハビリテーションに携わる
医療従事者のレベルアップをめざします。

「第2回南大阪リハビリテーション学会」が、3月8日（土）に馬場記念病院にて開催されました。一般研究発表は61演題で、最優秀賞1演題、優秀賞3演題が選ばれました。また、田島文博教授（和歌山県立医科大学）による招待講演、魏 秀復副院長（馬場記念病院脳神経外科部長）による特別講演も行われました。今後とも、南大阪地域におけるリハビリテーションの普及と拡充に寄与していきます。

TOPICS 4 多職種事例検討会

多職種の役割を理解することが、
今後の医療行為のヒントに。

昨年12月19日（木）、馬場記念病院で「第1回ペガサス多職種事例検討会」を開催しました。これは、ペガサスグループ内の多種多様な職種の職員が集まり、一つの症例をテーマにして「自分の職種に期待すること」「他の職種に期待すること」「ペガサスだからできること」を話し合う検討会。自分と違う職種が理解できる有意義な機会となりました。

今後もペガサスグループ内で、医療と介護のシームレスな連携を行うため、年4回開催する予定です。

だけです。

当院では日々、質の高い看護・介護体制により、快適な療養生活の提供に努めるとともに、患者さまの早期社会復帰を支援していきます。

